43. マインド Mind

あなた自身の惨めさ、喜び、否定的な部分、肯定的な部分、地獄、あるいは天国といった創造の責任を取る用意。この責任を理解して受け容れたら、ものごとは変わり始めます。新しい可能性に向かって開いていましょう。

有名な逸話がある。

あるとき、ある人が旅をしていて、偶然楽園に入った。さて、インドの楽園の概念では、願いをかなえてくれる木がある。ただその下に坐って、なにかを望むと、すぐにそれがかなえられる――欲望と成就の間に隙間は
その人は疲れていたので、この願いをかなえてくれる木の下で寝込んでしまった。目が覚めると、彼はとても腹が減っていたので、こう言った。「とてもおなかがすいている。どこかで食べるものが手に入るといいのだが」

彼はとても腹が減っていたので、それがどこから来たのか、あまり気にかけなかった――腹が減っていると、あなたは哲学的ではなくなる。彼はすぐに食べ始めた。それに食べ物は非常においしかった……。そして

もう彼は満足していた。彼のなかで別の考えが起きてきた。「なにか飲むものが手に入りさえすれば……」いまでも楽園にはどのような禁止項目もない。すぐに上等なワインが現れた。
木陰の、楽園の涼しい風のなかで、くつろいでワインを飲みながら、彼は不思議な気がしてきた。「いったいどうしたのだろう?
どうなっているのだろう? 私は夢を見ているのだろうか、それとも私に悪戯(あくぎ)をしている幽霊がこのあたりにいるのだろう
か? 」
すると幽霊が現れた。しかも彼らは凶暴で、恐ろしく、吐き気を催(もよお)させた。彼は震え出した。そしてある考えが彼のなかに起きてきた。「もう、私はまちがいなく殺される……」そして、彼は殺された。

この逸話は古くからある逸話だ。途方もなく意義深い。あなたのマインドは望みをかなえてくれる木だ――あなたがなにを考えようとも、いずれそれは実現する。ときには、自分がそれを望んだことを完全に忘れてしま

それらがあなたの地獄を創る。それらがあなたの天国を創る。それらがあなたの惨めさを創る。それらがあなたの喜びを創る。
それらが否定的なものを創る。それらが肯定的なものを創る……。

ここにいるあらゆる人が魔術師だ。そしてあらゆる人が自分のまわりに魔法の世界を紡ぎ出している……そうして捕まってしまう。蜘蛛そのものが自分の巣で捕らえられている。

あなたを虐待している人は、あなたをおいてほかにいない。そして、一度このことが理解されたら、ものごとは変わり始める。
そうなるとあなたは、その向きを変えることができる。自分の地獄を天国に変えることができる。それはただちがった視野からそれを描くという問題にすぎない……。全責任はあなたにある。

そして新しい可能性が起きてくる。あなたは世界を創るのをやめることができるのだ! 天国と地獄を創る必要はない、創る必要はまったくない。創造主はくつろいで、退くことができる。

そして、マインドの引退が、瞑想だ。

TAKE IT EASY, Vol.2, pp.176-179

Revision #4
Created 5 October 2024 08:13:56 by ゆう
Updated 25 October 2024 02:54:53 by ゆう